

3 地域産業元気創造プロジェクト

「ダイナミックやまなし総合計画」 政策別実施状況

プロジェクト	3	地域産業元気創造プロジェクト
--------	---	----------------

政策	1	地域資源を最大限に活かす観光の推進	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	22	
<p>【政策推進に当たっての基本的な考え方】 活力ある地域づくりに不可欠な交流人口の拡大を図るためには、個性豊かな地域産業の連携を強化しながら、魅力ある地域資源を最大限に活用することにより、県内各地を周遊する滞在型の観光を推進する必要があります。 このため、滞在型観光の受け皿となる観光産業を活性化させるとともに、農林業や地場産業など様々な産業を結び付け、本県ならではの観光を強力に展開します。また、世界遺産富士山など県内各地の観光資源の魅力を高める取り組みや国内外へのプロモーション活動、増加が見込まれる外国人観光客の受入環境整備などに積極的に取り組みます。</p>					
平成29年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ 観光産業活性化の総合的な推進		P.22	観 光 部	
	○ 世界遺産富士山の保存管理		P.23	県民生活部・教育委員会・県土整備部	
	○ 富士山世界遺産センターの整備		P.24	県民生活部	
	○ 新たなユネスコエコパーク登録の推進		P.24	森林環境部	
	○ 山岳観光の推進		P.25	観光部・警察本部	
	○ 県内周遊観光の促進		P.25	観 光 部	
	○ 世界農業遺産への認定推進		P.26	農 政 部	
	○ 中部横断道開通に伴う地域活性化への取り組み		P.27	総合政策部・観光部	
○ 外国人観光客受入環境の整備促進		P.30	観光部・県土整備部・福祉保健部・県民生活部		
事業費	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）		3,698 百万円		
	前年度までの事業費		3,285 百万円		
	本年度の事業費		413 百万円		
成果指標の達成状況	成 果 指 標	基準値 (基準年度) A	目標値 (目標年度) B	現況値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A} \times 100\right)$
	観光入込客数（実人数）	30,017 千人 (H26)	31,427 千人 (H31)	32,162 千人 (H29)	152.1
	外国人延べ宿泊者数	949 千人 (H26)	1,929 千人 (H31)	1,609 千人 (H29)	67.3
	観光消費額	3,573 億円 (H26)	4,102 億円 (H31)	4,133 億円 (H29)	105.9

※下線の成果指標は「山梨県まち・ひと・しごと創生総合戦略」にも記載

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
① おもてなしの 推進 【観光企画課】 【観光資源課】	観光総務費 (6,787) 5,451	<p>本県を訪れた旅行者がやすらぎと感動を覚え、再び訪れたい魅力ある地域づくりを進めるため、県民総参加によるおもてなしを推進した。</p> <p>これにより、東京オリンピック・パラリンピックを見据えた県民のおもてなしに取り組む気運醸成に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもてなし知事表彰 12団体・個人 ・おもてなしアドバイザーの派遣 3回 ・おもてなし宣言の実施 503件 ・観光人材育成・おもてなし推進事業による支援 8件 ・やまなし観光カレッジの開催 修了者数 364人 ・やまなし観光フォーラムの開催 1回(2会場同時開催) 参加者 150人
② 観光産業活性化の総合的な 推進 【観光企画課】	観光総務費 (40,152) 35,344	<p>地域経済の発展と雇用の創出を図るため、「やまなし観光産業活性化計画」に基づき、日本版DMO*として整備した公益社団法人やまなし観光推進機構により観光産業の生産性向上を図る取り組みを行った。</p> <p>これにより、本県観光産業の活性化の総合的な推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やまなし観光推進機構が日本版DMOとして登録 平成29年11月

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
③ 世界遺産富士山の保存管理 【世界遺産富士山課】 【学術文化財課】 【景観づくり推進室】	企画総務費 (58,130) 49,074 文化財保護費 (232) 232 土木総務費 (31,734) 19,111 [6,375]	<p>世界遺産富士山の顕著な普遍的価値を守り、地域の宝として後世に引き継いでいくため、ユネスコに提出した「保全状況報告書」の取り組み方針に沿って、構成資産及び緩衝地帯の適切な保存管理を行った。</p> <p>これにより、富士山の環境保全対策が推進され、良好な景観の形成が図られるなど、世界遺産富士山の適切な保存管理に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護法に基づく「富士山」の現状変更許可件数 54件 ・指定文化財等の保存修理・管理事業への支援 北口本宮富士浅間神社 外3件 ・「富士山の日」(2月23日)の啓発 記念式典の開催 参加者 400人 街頭キャンペーンの実施 富士山駅 外2箇所 ・富士山レンジャーによる環境保全活動の実施 不法投棄パトロール 829回 環境教育活動 52回 ・富士山登山者からの富士山保全協力金の募集 協力額 96,710,776円 協力率 56.9% ・世界文化遺産景観形成支援事業の実施 4市町村 23件 ・山梨県世界遺産富士山の保全に係る景観配慮の手續に関する条例に基づく専門委員への意見聴取 3件
④ 富士山の安全対策の実施 【世界遺産富士山課】	企画総務費 (55,975) 48,415	<p>富士山の安全な登山及び観光を確保するため、安全・快適な登山環境の整備や登山者・観光客への啓発等を実施した。</p> <p>これにより、富士山の安全対策が図られ、安心して快適な富士登山及び観光の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五合目インフォメーションセンターの設置運営 187日間 ・富士山下山道の維持管理 補修箇所 19箇所 ・富士山登山者へのカントリーコード(ルール・マナー)の遵守の事前指導の実施 3,207件

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
⑤ 富士山世界遺産センターの整備 【世界遺産富士山課】	企画総務費 (6,218) 4,789	<p>富士山の世界遺産としての保存管理及び観光の促進を図るため、平成28年6月に開館した世界遺産センターを拠点に、国内外からの来訪者に対し、富士山の有する顕著な普遍的価値の普及啓発やきめ細かな案内等を行った。</p> <p>これにより、世界遺産富士山の価値に対する来訪者の理解の促進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富士山世界遺産センターを拠点にした富士山の普遍的価値の普及啓発等 <ul style="list-style-type: none"> 研究紀要の刊行 500部 企画展の開催 2回 教材ワークシートの刊行 30,000部 富士山総合学術調査研究公開発表会の開催 平成30年2月
⑥ 巡礼路を活用した観光の推進 【世界遺産富士山課】	企画総務費 (3,582) 3,575	<p>来訪者に世界遺産富士山の価値について体系的に理解してもらうため、構成資産をつなぐ巡礼路や様々な地域資源を活用した取り組みを行った。</p> <p>これにより、世界遺産富士山の価値に対する来訪者の理解が促進されるとともに、巡礼路を活用した滞在型観光の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・REBIRTH! 富士講プロジェクト事業の推進 <ul style="list-style-type: none"> REBIRTH! 富士講プロジェクト部会の開催 3回 観光事業者を対象にした研修会の開催 2回
⑦ 新たなユネスコエコパーク登録の推進 【みどり自然課】	企画総務費 (2,500) 2,500	<p>甲武信ユネスコエコパークの登録を推進するため、エリア拡張及び組織体制の改善を行った上で、再度国内委員会に申請書を提出した。</p> <p>これにより、平成30年中のユネスコ本部への推薦が決定し、新たなユネスコエコパークの登録推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録推進協議会の開催 3回 ・登録推進検討委員会の開催 2回 ・住民説明会の開催 1回 ・申請書の提出 平成29年10月 ・ユネスコ本部への推薦決定 平成30年3月

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
⑧ 山岳観光の推進 【観光資源課】 【警：地域課】	観光総務費 (10,854) 9,081	<p>山岳を生かした観光の振興を図るため、登山の安全の確保に関する条例を制定するとともに、登山の安全を確保するための体制整備の検討や登山者に向けた啓発事業を実施した。</p> <p>また、山岳事故の防止に向け、登山ルート of 難易度情報の提供等を行うとともに、コンパスの導入による登山者数の実態把握に努めた。</p> <p>これにより、登山者等の安全確保に寄与した。</p> <p>【安全登山対策の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全登山対策検討委員会の開催 4回 <p>【登山の安全の確保に関する条例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 登山の安全の確保に関する条例の制定 平成 29 年 10 月 <p>【安全対策の実施に向けた検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> 冬期登山実態調査の実施 富士山・南アルプス・八ヶ岳 <p>【条例の周知・安全登山の普及啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> チラシ・ポスターの作成 チラシ 50,000 枚 ポスター 1,000 枚 登山専門誌への広告掲載 平成 30 年 2 月 登山を安全に楽しむための指針冊子の作成 30,000 部 啓発看板の設置 5箇所 <p>【山岳情報の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> グレーディング情報の提供 <p>【登山者数の実態把握】</p> <ul style="list-style-type: none"> 冬期登山実態調査の実施 富士山・南アルプス・八ヶ岳 インターネットでの登山届の提出及び閲覧が可能なシステム（コンパス）の運用 ホームページ等による山岳情報の発信 138回 登山指導の実施等 588回 山岳遭難連絡協議会等の開催 59回 登山届 43,408件 うちコンパスによる登山届 11,936件
⑨ 県内周遊観光の促進 【観光資源課】	———	<p>県内周遊観光を促進するため、歴史・文化に根ざした地域の観光資源を磨き上げるとともに、活用する取り組みを支援した。</p> <p>これにより、文化財等を核とした周遊観光の促進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 富士川地域・身延線沿線観光振興協議会等の取り組みへの参加

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
⑩ ワインリゾート構想の推進 【観光資源課】	観光総務費 (4,151) 4,095	<p>国内外のワインファンによる2泊以上の宿泊滞在や富士山を訪れた観光客の国中地域への周遊の促進を図るために、平成28年2月に策定したワインリゾート構想に基づく取り組みを推進した。</p> <p>これにより、地域の受入体制の整備促進や情報発信の強化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 峡東地域ワインリゾート推進協議会の活動 <ul style="list-style-type: none"> ワインリゾートコンシェルジュの育成 32人 広域周遊看板デザイン制作 PRポスター等作成 <ul style="list-style-type: none"> ポスター 3,200部 チラシ 20,000部 マップ 28,000部 モニターツアーの実施 <ul style="list-style-type: none"> 平成30年2月 参加者 95人
⑪ 世界農業遺産への認定推進 【農政総務課】	農業総務費 (2,430) 2,430	<p>桃やぶどう等の果樹農業を将来にわたって維持発展させるとともに、観光資源としての価値を更に高めるため、峡東3市及び関係団体と連携しながら平成29年2月に認定された日本農業遺産について周知するとともに、世界農業遺産の申請に向け、シンポジウムの開催や生物多様性調査等を実施した。</p> <p>これにより、平成30年度の世界農業遺産の応募に必要な申請書の作成につなげるとともに、世界農業遺産の認定への機運の醸成に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 峡東地域世界農業遺産推進協議会の開催 <ul style="list-style-type: none"> 平成29年5月 ・ 推進協議会を主体とした認定推進活動 <ul style="list-style-type: none"> シンポジウムの開催 <ul style="list-style-type: none"> 平成29年11月 参加者 350人 生物多様性調査の実施 <ul style="list-style-type: none"> 平成29年5月～平成30年3月 パンフレットの作成・配布 6,000部 ポスターの作成・配布 500部 のぼりの作成・配布 800本
⑫ 広域観光圏等への支援 【観光資源課】	—————	<p>広域的な観光地づくりを進め、県内周遊観光を促進するため、八ヶ岳観光圏整備推進協議会や富士五湖観光連盟の活動を支援した。</p> <p>これにより、協議会等の活動の促進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光圏、観光連盟の会議出席及び助言の実施

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
⑬ 中部横断道開通に伴う地域活性化への取り組み 【地域創生・人口対策課】 【観光資源課】	企画総務費 (296) 0 観光総務費 (1,000) 999	<p>中部横断自動車道の開通による効果を最大限に活用するため、平成28年3月に策定した中部横断道沿線地域活性化ビジョンに基づき、推進協議会を開催し、協議を行った。</p> <p>また、開通を見据え、歴史・文化的な観光施設などを活用し新たな観光客を誘致する取り組みを進め、峡南地域の歴史・文化を核とした観光振興構想を策定した。</p> <p>これにより、沿線地域の活性化を効果的に推進するとともに、沿線地域などへの中京圏からの誘客や、富士山を訪れた観光客等の周遊観光の促進にも寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中部横断道沿線地域活性化ビジョンの推進協議会ワーキンググループの開催 平成29年9月 ・富士川地域歴史・文化ツーリズム推進会議の設置 平成29年6月 ・峡南地域の観光情報を発信するWEBサイトの構築 平成30年3月 ・静岡県内発行のフリーペーパーへの峡南地域観光情報掲載 3回
⑭ リニア中央新幹線開業に向けた沿線地域の活性化への支援 【リニア推進課】 【市町村課】	市町村振興資金貸付金 (市町村振興) (資金特別会計) (270,000) 42,600 [219,500]	<p>リニア中央新幹線開業に向けた沿線地域の活性化を図るため、沿線市町が実施する取り組みを支援した。</p> <p>これにより、沿線市町の取り組みへの円滑な資金調達に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リニア沿線地域活性化支援事業資金貸付金 貸付件数 3件(2市1町) 貸付額 42,600千円
15 リニア中央新幹線の「見える化」などに向けた取り組みの推進 【リニア推進課】 【大気水質保全課】	———	<p>住民の生活環境の保全に配慮した上で、景観との調和を図るとともに、観光資源として活用するため、リニア中央新幹線の「見える化」に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リニア中央新幹線の騒音に係る環境基準の類型の当てはめに向けた土地利用状況の確認等の作業を実施 ・JR東海に対して住民の生活環境の保全に配慮した騒音対策について要請 ・沿線市町と環境保全の進め方について協議

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
16 冬季の観光誘客の促進 【観光プロモーション課】	———	<p>冬季の観光客の誘客を促進するため、冬の観光キャンペーンなどを実施した。</p> <p>これにより、冬季における観光客の誘客に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 冬季キャンペーンの実施 やまなし観光推進機構実施（11月～2月） 11回
⑰ MICE誘致の推進 【観光プロモーション課】	———	<p>MICE*（全国的な会議や学会など）を本県へ誘致するため、県内の施設情報などを富士の国やまなし観光ネットのMICE専用サイトで情報発信した。</p> <p>これにより、MICE誘致による誘客に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> MICE開催への支援 34件 MICE専用サイトの総アクセス数 7,382 ページビュー
⑱ 富士の国やまなし観光PRの強化 【観光プロモーション課】	<p>観光宣伝費 (9,773) 9,729</p> <p>企画総務費 (16,760) 16,636</p>	<p>本県のイメージアップを図るとともに、国内外からの更なる誘客を促進するため、ハローキティなどのキャラクターを活用したプロモーションにより観光PRを強化するとともに、観光ネットを通じて旅行情報や本県の魅力を常時発信した。</p> <p>これにより、観光情報や本県の魅力発信が強化され、国内外からの誘客に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> キャラクターを活用したプロモーションの実施 6回 観光ネット総アクセス数 10,824,004 ページビュー

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果										
⑱ やまなしブランドのPR推進 【観光プロモーション課】	商工振興費 (42,209) 42,186 企画総務費 (22,000) 22,000	<p>本県のブランドイメージを高め、持続的な地域経済の活性化につなげるため、東京日本橋の本県アンテナショップにおいて、県産品の販路拡大及び観光物産情報の発信を行った。また、県産食材を活用した「食」をテーマに宿泊施設等と連携した情報発信を行った。</p> <p>これにより、ブランドイメージの向上と本県ファンの拡大に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> アンテナショップでの販路拡大等 <table data-bbox="730 645 1442 763"> <tr> <td>県産品の購入者</td> <td>65,424 人</td> </tr> <tr> <td>パンフレットの配布</td> <td>124,420 件</td> </tr> <tr> <td>観光案内の実施</td> <td>1,694 件</td> </tr> </table> 「食」をテーマとした情報発信サイト水と太陽のレシピの総アクセス数 183,986 ページビュー 	県産品の購入者	65,424 人	パンフレットの配布	124,420 件	観光案内の実施	1,694 件				
県産品の購入者	65,424 人											
パンフレットの配布	124,420 件											
観光案内の実施	1,694 件											
⑳ 関東観光広域連携キャンペーンの推進 【国際観光交流課】	観光総務費 (2,317) 2,183	<p>東京オリンピック・パラリンピック開催を契機に、関東地方の観光認知度向上、旅行者来訪促進及び旅行者満足度向上を図るため、関東各都県と連携したキャンペーンを推進した。</p> <p>これにより、本県の魅力の発信と観光客の利便性の向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ツーリズムEXPOジャパンへの出展 平成 29 年 9 月 										
㉑ 国際トップセールス等海外プロモーションの推進 【国際観光交流課】 【観光プロモーション課】	観光宣伝費 (9,965) 9,839 観光総務費 (1,633) 1,075	<p>海外からの更なる誘客を図るため、東南アジア等における観光、産業、農業分野からなる複合的なトップセールスの実施や外国人留学生等によるSNSを活用した情報発信を通じて、本県の魅力を積極的にPRした。</p> <p>これにより、現地における山梨の認知度を高め、本県への外国人観光客の誘客及び周遊観光の促進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 台湾・ベトナム・インドネシアでトップセールスを実施 <table data-bbox="730 1749 1442 1951"> <tr> <td>やまなし魅力説明会の開催</td> <td></td> </tr> <tr> <td>現地旅行会社へのセールスコール</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>台湾 平成 29 年 7 月</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ベトナム 平成 29 年 10 月</td> </tr> <tr> <td></td> <td>インドネシア 平成 29 年 12 月</td> </tr> </table> SNSの有効活用方法セミナー等の開催 3回 	やまなし魅力説明会の開催		現地旅行会社へのセールスコール			台湾 平成 29 年 7 月		ベトナム 平成 29 年 10 月		インドネシア 平成 29 年 12 月
やまなし魅力説明会の開催												
現地旅行会社へのセールスコール												
	台湾 平成 29 年 7 月											
	ベトナム 平成 29 年 10 月											
	インドネシア 平成 29 年 12 月											

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
② 外国人観光客 受入環境の整備 促進 【観光プロモーション課】 【国際観光交流課】 【道路管理課】 【医務課】 【世界遺産富士山課】	観光総務費 (8,260) 8,260 観光宣伝費 (3,280) 3,280 道路橋りょう整備費 (43,377) 34,975 [8,402] 医務費 (34,356) 34,352 企画総務費 (735) 0	外国人観光客の受入環境の充実を図るため、無料公衆無線LAN (Wi-Fi) スポットの整備や、外国人向けスマートフォン専用アプリの運用等の総合的な取り組みを進めた。 これにより、外国人観光客の利便性の向上に寄与した。 【インバウンドホスピタリティ向上推進】 ・インバウンドおもてなし研修会の開催 4回 参加者 145人 【ICTを活用した利便性向上】 ・富士山登山道無料Wi-Fiスポットの整備 19箇所 ・スマートフォン向けアプリ (FUJISAN ACTIVITIES) のダウンロード数 12,143件 【通訳ガイド提供体制の充実】 ・地域限定特例通訳案内士の育成研修の実施 平成29年8月、9月 資格登録者 56人 ※平成30年1月から「地域通訳案内士」 ・通訳ガイド人材交流会の開催 平成29年12月 通訳ガイド 54人 観光事業者等 15団体 【外国語による案内の拡充・強化】 ・国県道上の道路案内標識英語表記改善 298枚 ・やまなし医療ネットによる外国語に対応できる医療機関情報の提供

「ダイナミックやまなし総合計画」 政策別実施状況

プロジェクト	3	地域産業元気創造プロジェクト
--------	---	----------------

政策	2	豊かな森林資源の利活用	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	11	
<p>【政策推進に当たっての基本的な考え方】</p> <p>本県の8割近くの面積を占める森林は、県民の生活に密接に関連した貴重な資源であり、将来にわたり良好な状態に保ち、多方面にわたり有効に活用していく必要があります。</p> <p>このため、健全で豊かな森林づくりを推進するとともに、県産材の需要拡大に加え、森林が持つ多面的機能に着目した様々な利活用を図る取り組みを進めます。</p>					
平成29年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ 健全で豊かな森林づくりの推進		P.32	森 林 環 境 部	
	○ 林内路網整備の推進		P.33	森 林 環 境 部	
	○ CLT工法等新技術の導入		P.34	森 林 環 境 部	
	○ 県産材需要拡大の推進		P.34	森 林 環 境 部	
	○ やまなしFSC認証材販売促進プロジェクトの推進		P.34	森 林 環 境 部	
	○ 木質バイオマスの利活用の推進		P.35	森 林 環 境 部	
	○ やまなし「水」ブランド戦略の推進		P.36	森 林 環 境 部	
事業費	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）		13,170 百万円		
	前年度までの事業費		9,408 百万円		
	本年度の事業費		3,762 百万円		
成果指標の達成状況	成 果 指 標	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A} \times 100\right)$
	森林整備の実施面積	4,685 ha (H26)	6,000 ha (H27～31の平均)	6,205 ha (H29)	115.6
	木材生産量	156 千m ³ (H26)	310 千m ³ (H31)	214 千m ³ (H29)	37.7
	自然を目的として本県を訪れる観光客数	5,425 千人 (H26)	5,788 千人 (H31)	7,413 千人 (H29)	547.7

※下線の成果指標は「山梨県まち・ひと・しごと創生総合戦略」にも記載

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
① 健全で豊かな森林づくりの推進 【森林環境総務課】 【森林整備課】 【林業振興課】 【県有林課】 【治山林道課】	造林費 (759,934) 673,169 [86,270] 治山費 (284,335) 284,335 林業総務費 (1,958) 1,577 林業振興指導費 (70,430) 61,520 造林費 (恩賜県有財産特別会計) (656,423) 574,110 [76,051]	水源涵養機能をはじめとした森林の有する多面的機能を強化し、健全で豊かな森林を次世代に継承するため、林業を支える新たな担い手を育成するとともに、間伐等による荒廃森林の再整備などを行った。 これにより、適切な森林整備と社会全体で支える森林づくりの推進に寄与した。 ・森林整備の実施面積 6,205 ha ・林業を支える新たな担い手の育成支援 16人 ・森林環境保全基金運営委員会の開催 (平成29年度事業内容等) 2回

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
② 林内路網整備の推進 【森林整備課】 【県有林課】 【治山林道課】	造林費 (51,333) 51,333 林道費 (583,212) 455,182 [128,030] 造林費 (恩賜県有財産特別会計) (11,773) 11,773 林道費 (恩賜県有財産特別会計) (1,691,605) 1,342,435 [349,170] 計画調査費 (恩賜県有財産特別会計) (13,353) 13,353	施策の集約化や高性能林業機械の導入などに対応し、健全で豊かな森林づくりを進めるため、林内路網整備計画を見直し、効率的な森林整備に不可欠な路網整備を推進した。 これにより、林業生産性の向上に向けた取り組みや、山村地域の活性化に寄与した。 ・林道の整備 延長 10.4 km ・森林作業道の整備 延長 32.0 km
3 森林資源の多面的利活用システムの構築に向けた取り組みの推進 【森林環境総務課】	————	「材」・「エネルギー」・「場」をキーワードとする森林資源の多面的な利活用システムを構築するため、平成 27 年 12 月に策定した「やまなし森林・林業振興ビジョン」に基づき、森林・林業・木材産業に関わる様々な組織や関係者が一体となって、具体的な施策を展開するとともに、ビジョンが目指す将来像の実現に向けた取り組みを進めた。 これにより、森林資源の利活用に寄与した。 ・森林資源を利活用するための会議の開催 3 回

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
④ CLT工法等 新技術の導入 【林業振興課】	林業振興指導費 (654) 638	<p>中高層建築物への利用などにより県産材の需要拡大を図るため、材の安定供給や県産材の認証制度を踏まえながら、製材や集成材に関する施策に加え、CLT工法*等新技術の導入を推進した。</p> <p>これにより、県産材の更なる需要拡大に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> CLT工法等に関する建築士等への研修会の開催 2回 平成29年11月 参加者89人 平成30年3月 参加者34人
⑤ 県産材需要拡大の推進 【林業振興課】	林業振興指導費 (2,142,226) 17,427 [2,123,724]	<p>県産材の需要拡大を図るため、県関係部局や市町村等と連携して県内公共建築物等の木造化、木質化を促進した。また、需用者側のニーズの掘り起こしに向けたビジネス支援の取り組みを実施した。</p> <p>これにより、県産材の利用が促進され、需要拡大とともに木材産業の活性化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 県産FSC認証材*を使用した製品の新規開発への助成 1件 木材集出荷機械等の整備への助成 2件 県内の小・中学校等に県産材製品の導入 4件
⑥ やまなしFSC認証材販売促進プロジェクトの推進 【県有林課】	計画調査費 (恩賜県有財産特別会計) (37,911) 30,746	<p>東京オリンピック・パラリンピック競技施設への県産FSC認証材の活用を核に、県内外で需要拡大を図っていくため、認証材製品の展示会等による販売促進活動を行うとともに、製品生産者への直接販売などにより認証材の安定供給を行った。</p> <p>これにより、県産FSC認証材の利用拡大や需要者のニーズに応えた認証材の供給が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 展示会等への出展 7回 県産FSC認証材の販売量 68,299 m³

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
⑦ 木質バイオマスの利活用の推進 【林業振興課】	林業振興指導費 (11,792) 11,569	<p>県内の森林資源を有効活用するため、木質バイオマス*利用設備の整備や供給体制の強化を図るとともに、地域密着型の小規模発電等への取り組みを推進した。</p> <p>これにより、木質バイオマスの利活用の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普及啓発イベント等の開催 3回 ・木質バイオマスボイラー導入支援技術者の派遣 3件 ・地域型利用・供給システムの構築に向けた地域協議会の活動支援 1地域 ・未利用材の受入・集積のための施設整備等 2件 ・小規模発電等に関する技術的課題や事例の情報収集の実施
⑧ 企業・団体の森づくり活動の推進 【みどり自然課】	緑のふるさと推進事業費 (223) 58	<p>森づくり活動を通じた交流による地域活性化を図るため、活動を希望する企業・団体にワンストップで対応・支援を行うとともに、それぞれの活動をCO₂吸収量として評価・認証することなどにより、継続的な森づくりへの参加を促進した。</p> <p>これにより、企業・団体による森づくり活動の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森づくり活動支援 60企業・団体 68箇所 ・CO₂吸収量の認証 14件 認証量137.8t - CO₂
⑨ 森林の観光・レクリエーション利用の促進 【県有林課】	緑のふるさと推進事業費 (220,279) 218,397	<p>県有林を中心とした森林の多面的な利用を進めるため、森の癒し効果を活用した地域産業との連携など、観光やレクリエーション等の場としての利用を促進した。</p> <p>これにより、県内外の観光客等による森林空間の利活用が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健休養機能を活用した森林利用の場の提供 ・森林景観整備の実施 9件 ・「やまなしの魅力ある森林スポット100選」のPR

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
⑩ 特用林産物の 産地化の推進 【林業振興課】	林業振興指導費 (1,409) 1,093	<p>豊かな森林資源が育んだきのこなど特用林産物の産地化を図るため、新品種の開発と栽培技術や生産物の普及を推進した。</p> <p>これにより、特用林産物の産地化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特用林産物産地化・販路拡大に向けた協議会の開催 4回 ・特用林産物の新品種（ダイオウ）の実証栽培 1件 ・特用林産物の新品種（クロアワビタケ）の栽培への助成 3件 ・商標登録（kai 大黃、山梨夏っ子きのこ） 2件
⑪ やまなし「水」 ブランド戦略 の推進 【森林環境総務課】	企画総務費 (13,407) 12,449	<p>本県の良質な「水」のブランド力を高め、水資源を生かした新たな事業の創出を図るため、「やまなし育水研究会議」や、「やまなし育水推進県民大会」の開催、県内の大学等が行う研究に対する助成、二カ国語のPR映像の作成、中央線特急列車の車両広告の掲出、イメージアップ・キャンペーンの展開を行った。</p> <p>これにより、イメージアップや認知度向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やまなし育水研究会議の開催 2回 ・やまなし育水推進県民大会の開催 平成 29年 11月 参加者 150人 ・県内の大学等が行う水研究に対する助成 5件 ・二カ国語のPR映像の作成 平成 29年 7月 ・中央線特急列車の車両広告の掲出 平成 29年 9月～12月 ・イメージアップ・キャンペーンの展開 (東京・大阪・名古屋など)

「ダイナミックやまなし総合計画」 政策別実施状況

プロジェクト	3	地域産業元気創造プロジェクト
--------	---	----------------

政策	3	高品質化・販路開拓による儲かる農業の展開	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	17	
<p>【政策推進に当たっての基本的な考え方】</p> <p>担い手の高齢化や減少、グローバル化の進展など農業を取り巻く環境が厳しくなる中、こうした状況を本県の農業のあり方を見直す一つの機会として捉え、対応していく必要があります。</p> <p>このため、農産物の戦略的な販路拡大、農業生産の効率化や高付加価値化、農産物の一層の高品質化などの取り組みを総合的に推進し、儲かる農業へと転換を図ります。</p>					
平成29年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ 新・やまなし農業大綱に基づく総合的な施策推進		P.38	農 政 部	
	○ 県産農産物のブランド強化		P.38	農 政 部	
	○ 東南アジア諸国への県産農産物の輸出の拡大		P.40	農 政 部	
	○ 省エネ施設園芸の推進		P.40	農 政 部	
	○ 6次産業化支援体制の充実		P.41	農 政 部	
	○ 水田農業における産地競争力強化と低コスト化の推進		P.41	農 政 部	
	○ 陸上養殖を活用した新たな特産品開発の推進		P.43	農 政 部	
○ 薬草等新たな特産物の発掘と産地化		P.44	森林環境部・農 政 部		
事業費	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）		1,626 百万円		
	前年度までの事業費		842 百万円		
	本年度の事業費		784 百万円		
成果指標の達成状況	成果指標	基準値 (基準年度) A	目標値 (目標年度) B	現況値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A} \times 100\right)$
	農業生産額	876 億円 (H26)	950 億円 (H31)	1,003 億円 (H29)	171.6
	県産果実の輸出額	514 百万円 (H26)	710 百万円 (H31)	752 百万円 (H29)	121.4
	6次産業化に新規に取り組む経営体数（総計）	52 経営体 (H26)	100 経営体 (H31)	86 経営体 (H29)	70.8

※下線の成果指標は「山梨県まち・ひと・しごと創生総合戦略」にも記載

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
1 新・やまなし 農業大綱に基 づく総合的な 施策推進 【農政総務課】	———	<p>本県農業を取り巻く情勢の変化に対応し、高品質化・販路開拓による儲かる農業への転換を図り、農業が生み出す美しい風景を守り育てるため、5年先を目標とする農業振興指針として平成27年12月に策定した「新・やまなし農業大綱」に基づく施策を総合的に推進した。</p> <p>これにより、農業の振興や農村地域の活性化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 大綱に基づく施策の推進 大綱推進会議の開催 4回
② 県産農産物の ブランド強化 【販売・輸出支援室】	農業総務費 (14,947) 14,656	<p>県産農産物のブランド力を強化するため、農業関係団体と協働して、富士の国やまなし逸品農産物の普及PR活動等を行うとともに、プロモーション活動等を実施し、流通販売事業者との連携強化を図った。</p> <p>これにより、県産農産物の消費の拡大に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 富士の国やまなしの逸品農産物の普及PR活動等の実施 バイヤーを招聘した産地見学会の実施 2回 国内プロモーション活動の実施 トップセールス 2回 関係団体が実施する国内販売促進活動への支援 逸品農産物キャンペーンの実施支援 29店舗

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
③ 県産農産物の 利用促進と供 給強化 【果樹・6次産業振興課】 【販売・輸出支援室】 【農業技術課】	農業総務費 (2,000) 1,967 農業改良普及費 (1,200) 893	県産食材の利用を促進するため、生産現場の視察を通じて実需者と生産者との意見交換とマッチングを実施した。 また、新たな需要に応える新品目の生産や有機農産物の共同出荷を支援した。 これにより、県産農産物の利用促進と供給強化に寄与した。 ・生産現場視察の実施 2回 ・実需者が食材として利用拡大した品目数 6品目 ・有機農産物の共同出荷組織への支援 3件 ・新たな需要に応える新品目の生産支援 6件
④ 県産農産物の 新たな販路の 開拓 【販売・輸出支援室】	農業総務費 (5,411) 4,971	県産農産物の消費拡大を図るため、農業者等の販路開拓を支援するとともに、市場情報等を産地に提供する取り組みを支援した。 これにより、県産農産物の販路開拓に寄与した。 ・農業者等のカタログ販売の取り組みへの支援 3者 ・農産物インフォメーションセンターによる情報収集・提供 市場情報等の収集 422回 産地への情報提供 334回

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
⑤ 東南アジア諸国への県産農産物の輸出の拡大 【販売・輸出支援室】	果樹園芸等振興費 (51,653) 44,988	<p>東南アジア市場を中心に、県産農産物の海外販路を拡大していくため、プロモーション活動や農業生産法人等への販路開拓機会の提供を行うとともに、常設の販売・情報発信拠点をシンガポールとマレーシアに設置した。</p> <p>これにより、東南アジア諸国への県産農産物の輸出の拡大に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外プロモーション活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> トップセールスの実施 台湾 トップセールスフォローアップの実施 タイ、マレーシア フルーツショップの設置 香港、台湾 フルーツフェアの開催 シンガポール、マレーシア、タイ プレゼンテーションの実施 香港、台湾、シンガポール、マレーシア、タイ ・農業生産法人等への販路開拓機会の提供 <ul style="list-style-type: none"> 海外バイヤーとの商談機会の提供 5回 ・農産物等海外販売・情報発信拠点の設置 <ul style="list-style-type: none"> シンガポール 平成28年7月設置 (平成28年10月拡充) マレーシア 平成28年8月設置
6 地中熱等再生可能エネルギーの活用技術の開発促進 【農業技術課】	総合農業技術センター費 (3,590) 3,253 農業改良普及費 (22,313) 21,850	<p>農業分野での再生可能エネルギーや廃熱等の利活用を促進するため、幅広い情報収集、県内での導入検討等を行った。</p> <p>これにより、地中熱等再生可能エネルギーの活用技術の開発促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農畜産物部門への自然エネルギー等活用検討会の開催 1回 ・地下水を利用した施設トマトの夏期高温障害対策試験の実施 ・地下水を利用した夏秋イチゴの収穫期拡大技術の開発試験の実施 ・地中熱を利用した夏秋イチゴの収穫期拡大、長期安定生産技術の実証
7 省エネ施設園芸の推進 【果樹・6次産業振興課】	果樹園芸等振興費 (805,877) 554,410 [229,613]	<p>野菜産地の競争力の確保を図るため、農業法人等が行う省エネ技術を活用した施設整備に対し支援した。</p> <p>これにより、野菜生産の低コスト化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・省エネ施設整備への助成 4件

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
⑧ 6次産業化支援体制の充実 【果樹・6次産業振興課】	農業総務費 (14,950) 14,757	<p>農業の6次産業化を推進するため、やまなし6次産業化サポートセンターを設置し、関係団体等が連携して支援する体制を整備するとともに、美味しい甲斐開発プロジェクトにより新たな加工品開発等を支援した。</p> <p>これにより、6次産業化支援体制の充実が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化サポートセンターの設置・運営 人材育成研修会の開催 2回 参加者 171人 インターンシップの実施 7人 5事業者 プランナーの派遣 71回 ・やまなし農業6次産業化戦略会議の開催 4回 ・新たな加工品開発の支援 10事業者 ・全国発酵食品サミット in 日本橋への参加 平成29年10月 ・一般社団法人やまなし美味しい甲斐の行う販売促進活動の支援
⑨ 水田農業における産地競争力強化と低コスト化の推進 【花き農水産課】	主要農作物生産対策費 (62,345) 61,791	<p>儲かる水田農業を展開するため、米及び転作作物の需要拡大、生産コスト低減及び耕作放棄地発生予防に取り組む市町村や農業者に対し支援した。</p> <p>これにより、米の生産数量目標の達成とともに、需要のある品目の作付けが増加し、水田の有効活用が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米及び転作作物の需要を拡大する推進事業への支援 25市町村 ・生産コスト低減、転作作物の生産等に必要な施設・機械の整備等への支援 20件
⑩ 市場ニーズに対応した果樹の優良品種の開発と普及推進 【果樹・6次産業振興課】	果樹園芸等振興費 (8,079) 7,882	<p>果樹農家の所得向上を図るため、消費者ニーズに合い、栽培適応性にも優れる県育成品種や有望な民間育成品種を県オリジナル品種とし、速やかな普及と産地化を推進した。</p> <p>これにより、市場ニーズに対応した果樹の優良品種の開発と普及に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県オリジナル品種苗木出荷実績 12,263本 ・ウイルスフリー苗木*供給本数 2,349本 ・新品種候補の品質検討の実施 6系統

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
⑪ 低コスト化を目指した果樹栽培施設の普及推進 【果樹・6次産業振興課】	果樹園芸等振興費 (2,372) 2,371	<p>現在県下で使われている「甲州式果樹棚*」は、建設費が高く、農業者の初期投資が大きいことから、同等の耐久性を持ち、低コストで本県果樹産地の特性に合った新たな果樹棚を開発し、実証・展示を実施した。</p> <p>これにより、低コスト化を目指した果樹栽培施設の普及に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 低コスト果樹棚の実証・展示
⑫ 県産食肉のブランド力の強化と生産農家の育成 【畜産課】	畜産振興費 (58,151) 26,040	<p>県産ブランド和牛「甲州牛」の生産基盤を強化するため、新たな担い手の育成や関係機関、団体等が一体となって生産農家をサポートする取り組みを支援するとともに、県産食肉の流通・販売力を高め、ブランド力を強化した。</p> <p>これにより、「甲州牛」の新たな担い手の育成と生産基盤の強化及び県産食肉のブランド力強化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 甲州牛生産研修者及び研修受け入れ者への支援 各1件 関係機関等が生産農家をサポートする取り組みに対する支援 2協議会
⑬ オリジナル花きの開発・産地化と販路拡大の推進 【花き農水産課】	果樹園芸等振興費 (8,115) 8,030	<p>本県の花き産地の維持強化と花き文化の振興を推進するため、平成28年3月に策定した「やまなし花き振興計画」に基づき、オリジナル品種の開発と産地化を推進した。また、県産花きの需要拡大を図るため、花き園芸組合連合会等花き団体が行う販売促進活動を支援した。</p> <p>これにより、産地と市場、仲買人とのつながり強化や新たな販路開拓、消費拡大が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 優良種苗の供給 4,606本 研修会等の開催 25回 商談会出展への支援 4回 41ブース 各種イベントへの参加 4回

施策・事業名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
⑭ 新たな県産ブランド魚の開発と普及 【花き農水産課】	水産業振興費 (5,234) 4,671	<p>本県の水産業の振興を図るため、平成28年6月に策定した「やまなし水産振興計画」に基づき、新たな県産ブランド魚の養殖技術の開発等に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニジマスとキングサーモンを掛け合わせたマス類新魚の名称決定「富士の介」 平成29年11月 ・「富士の介」の養殖技術実証試験、食味向上試験の実施 ・クニマスの増養殖技術の研究開発の実施
⑮ 陸上養殖を活用した新たな特産品開発の推進 【花き農水産課】	水産業振興費 (1,742) 1,742	<p>養殖魚を活用した新たな特産品開発を進めるため、陸上養殖導入に向け、やまなし陸上養殖協議会を開催した。また、トラフグ養殖グループの取り組みを支援するとともに、新たな魚種の養殖についても検討を進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会の開催 3回 ・新たな特産品開発グループ設置検討
⑯ 有機の郷づくりの推進 【農業技術課】	農業改良普及費 (8,459) 7,978	<p>有機の郷づくりを推進し、有機農業の生産拡大を進めるため、有機農産物の販路拡大、生産振興、人材育成の取り組みを実施した。</p> <p>これにより、有機農業に取り組んでいる農業者の生産及び経営の安定、有機農業就農希望者の定着に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境保全型農業直接支払補助金による支援 13市町村 134ha ・有機農業協力隊員の就農支援 5人 ・有機農業アカデミーの開催 平成29年12月 参加者145人

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
⑰ 薬草等新たな特産物の発掘と産地化 【林業振興課】 【花き農水産課】	主要農作物生産対策費 (945) 814	<p>耕作放棄地の有効活用や特用林産の振興につながり、新たな需要や国内での栽培要望が見込める薬用植物を産地化するため、現地において適応性を確認するとともに、栽培ノウハウの普及啓発を推進した。</p> <p>これにより、薬草栽培に取り組む団体が試験栽培を行うなど、特産物の産地化推進が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・甘草等の適応性の確認及び栽培手法の普及啓発 ・薬草栽培実証検討会及び現地研修会の開催 5回 ・現地試験ほ場の運営、栽培管理支援 3箇所

「ダイナミックやまなし総合計画」 政策別実施状況

プロジェクト	3	地域産業元気創造プロジェクト
--------	---	----------------

政策	4	活気に満ちあふれた農山村の創造	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	13	
<p>【政策推進に当たっての基本的な考え方】</p> <p>本県における農業生産活動を将来にわたり維持・発展させていくとともに、農業が生み出す地域の美しい風景を守り育てていくためには、それを支える農山村の基盤づくりを進める必要があります。</p> <p>このため、耕作放棄地の解消、多様な担い手の確保、アグリビジネスの推進、鳥獣害防止対策など活気に満ちあふれた農山村づくりを推進します。</p>					
平成29年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ 農地中間管理機構の活用促進		P.46	農 政 部	
	○ 農業の競争力を強化する基盤整備の推進		P.46	農 政 部	
	○ 就農定着支援の充実		P.47	農 政 部	
	○ 企業の農業参入の促進		P.48	農 政 部	
	○ 野生鳥獣の適切な管理の推進		P.49	森 林 環 境 部	
	○ ニホンジカの有効活用		P.49	農 政 部	
	○ 地域ぐるみによる野生鳥獣被害防止対策の推進		P.49	農 政 部	
事業費	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）		21,390 百万円		
	前年度までの事業費		13,143 百万円		
	本年度の事業費		8,247 百万円		
成果指標の達成状況	成 果 指 標	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	新規就農者数	274 人 (H26)	340 人 (H31)	314 人 (H29)	60.6
	担い手への農地集積率	29.8% (H26)	39.0% (H31)	36.5% (H29)	72.8
	獣害防止柵の整備による被害防止面積（総計）	3,531 ha (H26)	4,500 ha (H31)	4,263 ha (H29)	75.5

※下線の成果指標は「山梨県まち・ひと・しごと創生総合戦略」にも記載

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
<p>① 農地中間管理機構の活用促進</p> <p>【担い手・農地対策室】 【農村振興課】</p>	<p>農地調整費 (100,688) 94,101</p> <p>土地改良費 (70,000) 62,478</p>	<p>担い手への農地の集積・集約化や耕作放棄地の解消を加速するため、農地中間管理機構が行う事業（農地の借受け・貸付け、当該農地の利用条件の改善）を支援するとともに、県、市町村、JA等の関係機関が連携して事業を推進した。</p> <p>これにより、担い手農家への農地集積が進み、経営規模拡大により農家の経営安定に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集積面積 460 ha ・担い手への農地集積率 36.5% ・耕作放棄地の解消 199 ha
<p>② 農業の競争力を強化する基盤整備の推進</p> <p>【耕地課】</p>	<p>土地改良費 (11,667,934) 7,213,756 [4,441,590]</p>	<p>県産農産物の高品質化や生産性の向上、農業経営の安定化を図るため、担い手の多様なニーズに対応しつつ、果樹産地等におけるほ場や農道、用排水路などの農業生産基盤の整備を推進した。</p> <p>これにより、農業の競争力強化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほ場、農道等の農業生産基盤整備 鳴沢地区 外 26 地区 ・樹園地等の農地の総合的な整備 日川右岸地区 外 18 地区 ・基幹農道の整備 八ヶ岳南地区 外 5 地区
<p>③ 農村資源を活用した再生可能エネルギーの利用拡大</p> <p>【耕地課】</p>	<p>——</p>	<p>農村地域が有する豊かな資源を活用した再生可能なエネルギーを積極的に導入し、農業関係施設の維持管理費等の低減を図るため、農業用水への小水力発電の施設整備等を推進した。</p> <p>また、市町村や土地改良区に対する研修会を実施し、導入に対する課題の解決に向けた検討を行った。</p> <p>これにより、農村地域への再生可能エネルギーの利用拡大に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会の開催 平成 30 年 2 月

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
④ 就農促進体制の強化 【担い手・農地対策室】	農業改良普及費 (7,095) 7,095	<p>農業の担い手を確保・育成するため、山梨県就農支援センターが実施する就農支援マネージャーによる就農相談活動や就農啓発活動等の事業に対して支援した。</p> <p>これにより、新規就農者の確保に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就農支援マネージャーの設置 2人 ・就農相談会の開催 12回 ・就農相談件数 248件
⑤ 就農定着支援の充実 【担い手・農地対策室】	農業改良普及費 (303,162) 283,750	<p>就農意欲の喚起と就農定着を図るため、農業次世代人材投資資金を活用するとともに、新規就農者の育成に対して高い見識と能力を有する者を「アグリマスター」として認定し、就農者の技術習得などを支援した。また、新規就農者の早期経営安定を図るため、農業機械等の整備を支援した。</p> <p>これにより、新規就農者の確保と育成に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業次世代人材投資資金（準備型）の交付 19人（新規9人） ・農業次世代人材投資資金（経営開始型）の交付 190人（新規14人） ・就農者（研修生）の技術習得等の支援 19人 ・就農者（研修生）に対する研修会の開催 平成30年2月 ・就農者（研修生）及びアグリマスターに対する研修会の開催 平成29年10月 ・親元就農した農家子弟への農業機械等の整備支援 19人
⑥ 農業経営の法人化と大規模経営体の育成 【担い手・農地対策室】	農業改良普及費 (1,800) 1,772	<p>農業経営の体質強化を図るため、農業経営の法人化や大規模経営体の育成に向けた研修会を実施するなど、法人化への取り組みを支援した。</p> <p>これにより、農業経営の法人化による体質強化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人化の支援 4団体 ・研修会の開催 2回

施策・事業名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
⑦ 企業の農業参入の促進 【担い手・農地対策室】 【農村振興課】	農業改良普及費 (1,353) 1,081	<p>企業の農業参入を促進するため、企業訪問やセミナーの実施、参入パンフレットの配付や外部ウェブサイトへのバナー広告掲載によるPRを実施するとともに、農村の活性化を図るため、農業・農村を社会貢献や社会教育、福利厚生の場として活用しようとする企業の受入団体の取り組みを支援した。</p> <p>これにより、企業の農業参入の促進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業訪問及び参入相談の実施 61社 ・企業の農業参入セミナーの開催 平成29年10月 参加企業36社 ・外部ウェブサイトへのバナー広告掲載 平成29年4月～平成30年3月 ・観光商談会への参画 平成30年2月
⑧ 農援隊のネットワーク化と人材育成の推進 【農業技術課】	農業改良普及費 (2,062) 2,005	<p>農業者の新たな取り組みを支援する体制を強化するため、県や市町村、農業団体のOBによる「農援隊」を設置し、農務事務所と連携した個別指導を展開した。</p> <p>これにより、多様な農業者等の新たな取り組みに対して、技術レベルや要望に合わせたきめ細やかな支援に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農援隊隊員数 33人 ・農援隊による相談件数 565件
⑨ アグリビジネスの推進による農村地域の活性化 【農村振興課】	農業総務費 (1,642) 1,456	<p>農村地域の活性化を図るため、アグリビジネスアドバイザーを設置し、地域資源調査や活用方法等の助言を行うとともに、地域住民によるワークショップを開催し、地域資源の再認識や地域資源を活用する地域活性化計画の策定を支援した。</p> <p>これにより、農家の所得向上や地域の活性化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アグリビジネスアドバイザーの派遣 13回 ・アグリビジネスを推進する地域活性化計画の策定支援 4箇所

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
⑩ 野生鳥獣の適切な管理の推進 【みどり自然課】	鳥獣管理費 (176,407) 162,679	<p>野生鳥獣による深刻な被害を軽減するため、わなの活用を図りながら計画的に管理捕獲を実施するとともに、その担い手である狩猟者の確保や民間事業者等の参入を促進した。</p> <p>これにより、野生鳥獣の適切な管理が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニホンジカ捕獲頭数 14,320 頭 ・わな捕獲促進強化事業の実施 6 地区 18 隊 56 人 ・狩猟免許試験合格者 253 人 ・認定鳥獣捕獲等事業者 平成 30 年 3 月現在 3 社
⑪ ニホンジカの有効活用 【畜産課】	農業改良普及費 (6,050) 6,050 畜産振興費 (1,546) 1,292 [149]	<p>県内で捕獲したニホンジカを有効活用するため、適切な食肉処理やシカ肉の販路拡大など、多角的な検討・支援を行った。</p> <p>これにより、適切な食肉処理の促進、シカ肉の販路拡大の推進が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県ニホンジカ有効活用協議会の設置・開催 3 回 ・やまなしジビエ認証制度の創設 平成 29 年 7 月 ・やまなしジビエ×山梨ワイン魅力セミナーの開催 平成 30 年 1 月 ・シカ肉処理加工施設の増設 1 箇所
⑫ 地域ぐるみによる野生鳥獣被害防止対策の推進 【農業技術課】 【耕地課】	農業改良普及費 (31,691) 31,634 土地改良費 (368,483) 368,483	<p>野生鳥獣による農作物被害を防止するため、市町村が作成する被害防止計画に基づく取り組みや、集落ぐるみで行う被害防止活動に対して支援するとともに、獣が好んで食べない農作物の栽培実証を行った。</p> <p>また、市町村鳥獣被害防止協議会や関係機関と連携し、地域の実情を踏まえた侵入防止施設の整備を推進した。</p> <p>これにより、野生鳥獣による農作物被害の減少に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥獣被害防止総合対策への支援 16 地区 ・集落ぐるみの被害防止活動実施地区 2 集落 ・電気柵等の獣害防止柵の整備 延長 23 km ・被害防止農地面積 200 ha ・野生動物の被害を受けにくい農作物の栽培実証 2 箇所

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果								
13 家畜等の疾病 対策と防疫体 制の強化 【畜 産 課】	家畜保健衛生費 (9,550) 9,169	<p>高病原性鳥インフルエンザや口蹄疫等の重大な家畜伝染病が発生したときに円滑かつ迅速な対応を行うため、危機管理体制を構築し、疾病対策を推進した。</p> <p>これにより、関係者の危機管理意識の向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高病原性鳥インフルエンザ等の防疫演習の実施 <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td>高病原性鳥インフルエンザ</td> <td style="text-align: right;">平成 29 年 11 月</td> </tr> <tr> <td>口蹄疫</td> <td style="text-align: right;">平成 30 年 2 月</td> </tr> </table> ・鳥インフルエンザ発生予察のためのモニタリング検査の実施 <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td>ウイルス分離検査</td> <td style="text-align: right;">延べ 72 戸 / 年</td> </tr> <tr> <td>抗体検査</td> <td style="text-align: right;">延べ 97 戸 / 年</td> </tr> </table> 	高病原性鳥インフルエンザ	平成 29 年 11 月	口蹄疫	平成 30 年 2 月	ウイルス分離検査	延べ 72 戸 / 年	抗体検査	延べ 97 戸 / 年
高病原性鳥インフルエンザ	平成 29 年 11 月									
口蹄疫	平成 30 年 2 月									
ウイルス分離検査	延べ 72 戸 / 年									
抗体検査	延べ 97 戸 / 年									

「ダイナミックやまなし総合計画」 政策別実施状況

プロジェクト	3	地域産業元気創造プロジェクト
--------	---	----------------

政策	5	個性あふれる地場産業の振興	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	11	
<p>【政策推進に当たっての基本的な考え方】</p> <p>ジュエリー、ワイン、織物等本県が誇る特色ある地場産業の活性化を図るためには、ブランドの確立と商品の高付加価値化を進めていく必要があります。</p> <p>このため、地場産業を支えてきた伝統技術を生かしながら、今日のライフスタイルに合った新たな製品・デザインの開発や人材の育成、海外市場を含めた販路拡大などを支援し、個性あふれる産業創出を図ります。</p>					
平成29年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ 地場産業のブランド化・高付加価値化		P.52	産業労働部	
	○ ジュエリー産業の活性化		P.52	産業労働部	
	○ ワイン産業の活性化		P.52	産業労働部	
	○ 本県に適した醸造用ぶどうの開発と高品質化の推進		P.53	農 政 部	
	○ 織物産業の活性化		P.54	産業労働部	
	○ 企業のデザイン力・販売力強化に向けた取り組みの推進		P.54	産業労働部	
	○ デザインスキルを持つ人材の育成		P.55	産業労働部	
事業費	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）		1,445 百万円		
	前年度までの事業費		968 百万円		
	本年度の事業費		477 百万円		
成果指標の達成状況	成果指標	基準値 (基準年度) A	目標値 (目標年度) B	現況値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A} \times 100\right)$
	貴金属製品出荷額・全国シェア	28.3% (H25)	30.0% (H30)	25.7% (H27)	△ 152.9
	日本ワインの県内製成数量	4,046kl (H16～25の平均)	4,450kl (H26～30の平均)	5,626kl (H29)	391.1
	織物の産地推計生産額	8,141 百万円 (H25)	9,000 百万円 (H30)	9,163 百万円 (H28)	119.0

※下線の成果指標は「山梨県まち・ひと・しごと創生総合戦略」にも記載

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
① 地場産業のブランド化・高付加価値化 【地域産業振興課】	商工総務費 (16,776) 12,793	地場産業のブランド力強化を図るため、地場産品の高付加価値化やオリジナルブランドの開発、国内外での販路開拓等の取り組みを支援した。 これにより、地場産業の活性化に寄与した。 ・県産日本酒の商談会、試飲会などの支援 2件 ・ブランドプロモーション支援事業費補助金で地場事業者の取り組みを支援 13件
② ジュエリー産業の活性化 【地域産業振興課】	商工総務費 (4,614) 4,332 宝石美術専門学校費 (20,138) 19,528	ジュエリー産業の活性化を図るため、国内外の展示・商談会の開催・出展など販路開拓を支援するとともに、山梨ジュエリーミュージアムの活用などによる産地ブランド確立を推進した。 これにより、ジュエリー産地山梨を県内外へ情報発信することができ、認知度の向上や新たな販路開拓などに寄与した。 ・産地企業とのマッチング事業（バスツアー）の実施 2件 ・産地組合が行う「輝きの祭典」事業への支援 ・山梨ジュエリーミュージアムの運営
③ ワイン産業の活性化 【地域産業振興課】	商工総務費 (9,688) 8,768	ワイン産業の活性化を図るため、国内外の展示・商談会の開催・出展など販路開拓の取り組みを支援した。 これにより、県産ワイン及び産地山梨のブランドイメージの向上に寄与した。 ・国内(東京小石川)における展示・商談会の開催支援 1件 ・海外プロモーション(EU諸国)への支援 1件 ・台湾、ベトナムでトップセールスを実施 観光物産展における県産酒PR(台北、台中) 酒類関係事業者との意見交換 (ハノイ、ホーチミン) 平成29年7月、10月

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
④ 世界に通用するワイン産地の確立 【地域産業振興課】	商工振興費 (500) 371	<p>世界に通用するワイン産地として山梨の評価を確固たるものにするため、平成28年3月に策定した「第2期ワイン産地確立推進計画」に基づく施策を推進した。</p> <p>これにより原料ぶどうの安定供給、ワインの高品質化及び消費拡大に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワイン酒造組合が行うワイン生産技術強化のための取り組みへの支援 <ul style="list-style-type: none"> ワイナリーへの技術指導 7社 講演会等の開催 15回
⑤ 本県に適した醸造用ぶどうの開発と高品質化の推進 【果樹・6次産業振興課】	果樹園芸等振興費 (4,550) 4,452	<p>県産ぶどうを原料とした県産ワインのブランド力を強化し、消費拡大を促進するため、県ワイン酒造組合や試験研究機関などと連携し、甲州をはじめとする原料ぶどうの高品質化を推進した。</p> <p>これにより、本県に適した醸造用ぶどうの開発と高品質化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・醸造用に適した優良系統の品質調査・分析の実施 <ul style="list-style-type: none"> 「甲州」8系統、うち先行5系統から推奨3系統を選抜 欧州系専用種12系統 ・醸造用に適した栽培技術の研究 <ul style="list-style-type: none"> ぶどうの仕立て方法、台木品種・ぶどう品種を組み合わせた栽培試験の実施
⑥ ワイナリーと連携した醸造用ぶどうの生産拡大 【果樹・6次産業振興課】 【耕地課】	果樹園芸等振興費 (5,250) 5,220 土地改良費 (393,029) 393,029	<p>世界的なワイン産地として認められ、産地を維持・発展させていくため、農家経営の安定を図りながら、ワイナリーの求めに応じた原料供給ができるよう、醸造用「甲州」の栽培ほ場の維持・拡大を支援するとともに、新産地形成に向けた生産基盤の整備と新産地候補地の選定調査を実施した。</p> <p>これにより、ワイナリーと連携した醸造用ぶどうの生産拡大の推進が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産基盤の整備の実施 <ul style="list-style-type: none"> 天王原地区 茅ヶ岳西麓地区 ・新産地候補地選定調査の実施 <ul style="list-style-type: none"> 山梨地区 韮崎地区 ・ワイナリーとの長期契約による醸造用「甲州」の拡大 <ul style="list-style-type: none"> 5.5 ha

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
⑦ 織物産業の活性化 【地域産業振興課】	商工総務費 (10,039) 9,948	<p>織物産業の活性化を図るため、国内外の展示・商談会の開催・出展やプロモーション活動を支援するとともに、産地ブランド確立に向けた産地ツアーを実施した。</p> <p>これにより、織物産地やまなしの認知度向上や新たな販路開拓などに寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産地企業とのマッチング事業（バスツアー）の実施 3件 ・首都圏での産地PR事業を支援 1件 ・海外での販路開拓事業（ミラノ、ニューヨーク）を支援 2件 ・トレンドブック掲載を通じた産地PR事業を実施 トップブランドデザイナー等へのセミナー開催（アメリカ、オランダ） 3回
⑧ 伝統工芸品産業の振興 【地域産業振興課】	商工振興費 (3,031) 2,530	<p>甲州印伝や甲州水晶貴石細工、甲州手彫印章などの伝統工芸品産業の活性化を図るため、国内外の展示・商談会の開催・出展などの販路開拓や後継者育成のための取り組みを支援した。</p> <p>これにより、伝統工芸品産業の振興に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産地組合の展示会出展を支援 3件 ・後継者育成のための取り組みを支援 1件
⑨ 県工業技術センターのデザイン機能拡充 【地域産業振興課】	—	<p>地場産業を支える中小企業などの高付加価値商品の開発を支援するため、高精度な立体的デザインの制作が可能となる機器を産業技術センターに導入した。</p> <p>これにより、デザインセンターの機能強化が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3Dスキャナーの導入 1台 <p>※県工業技術センターは、平成29年4月に富士工業技術センターと組織統合され、「県産業技術センター」となった。</p>
⑩ 企業のデザイン力・販売力強化に向けた取り組みの推進 【地域産業振興課】	商工総務費 (1,090) 692 中小企業指導費 (1,336) 1,174	<p>本県地場製品の消費拡大を図るため、地場製品のデザイン向上・高品質化、新製品開発など外部デザイナーによるブランディング支援を行った。</p> <p>これにより、新たな山梨ブランドづくりに挑戦する取り組みに寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部デザイナーによる製品開発の支援 3件 ・やまなしモノづくりデザイン塾を実施 3回

施策・事業名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
① デザインスキルを持つ人材の育成 【産業人材育成課】	職業能力開発校費 (15,792) 13,774	<p>地場産業のブランド化、販売力を強化するため、デザインスキルを持つ人材育成の方針を踏まえ、デザインに関する職業訓練を実施した。</p> <p>これにより、高付加価値化に関するスキルを持つ人材の育成に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業訓練（服飾科、webクリエイター科）の実施 修了者 53 人（うち、就職者 28 人）

「ダイナミックやまなし総合計画」 政策別実施状況

プロジェクト	3	地域産業元気創造プロジェクト
--------	---	----------------

政策	6	にぎわいを生み出す商業・中心市街地の活性化	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	6	
<p>【政策推進に当たっての基本的な考え方】</p> <p>地域の商店街は、経済・文化・交流の中心であり、地域のにぎわいを創出するためには、活力ある商業の展開や中心市街地づくりを進める必要があります。</p> <p>このため、市町村や商工団体と連携して、地域の魅力ある商店街づくりを支援するとともに、中心市街地の活性化に向けた取り組みを推進します。</p>					
平成29年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ 商店街活力再生への支援		P.58	産業労働部	
	○ 大規模集客施設等の適正立地		P.58	産業労働部	
	○ 「買援隊」の支援		P.58	産業労働部	
	○ 中心市街地活性化事業への支援		P.59	産業労働部	
	○ 甲府駅南口周辺地域の再整備の推進		P.59	県土整備部	
	○ 甲府城跡の整備に向けた取り組みの推進		P.59	教育委員会	
事業費	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）		2,244 百万円		
	前年度までの事業費		1,875 百万円		
	本年度の事業費		369 百万円		
成果指標の達成状況	成果指標	基準値 (基準年度) A	目標値 (目標年度) B	現況値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	買援隊事業実施市町村数	—	27 市町村 (H31)	5 市町村 (H29)	18.5
	空き店舗を活用した新規創業数 (累計)	—	50 店舗 (H31)	30 店舗 (H29)	60.0
	甲府市中心市街地における歩行者 通行量（年3日間の定点調査）	147,364 人 (H26)	186,564 人 (H31)	132,681 人 (H29)	△ 37.5

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
① 商店街活力再生への支援 【商業振興金融課】	商工振興費 (8,626) 8,536	<p>商店街の活力を再生させるため、市町村や商工会議所等が行う空き店舗の活用や商業活性化のためのイベント開催などの取り組みを支援するとともに、研修会の開催により、地域に根ざした魅力ある商店街づくりを進める人材の育成を推進した。</p> <p>これにより、意欲ある市町村や商工会議所等の取り組みへの支援が図られ、商店街の活性化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街活性化イベント開催等の支援 5件 ・街路灯のLED化等による施設整備の支援 7件 ・空き店舗への出店促進等の支援 13件 ・商店街人材育成セミナーの開催 3回
2 大規模集客施設等の適正立地 【商業振興金融課】	商工振興費 (989) 702	<p>集客力の大きな大規模集客施設等の立地について、まちづくりへの影響等について総合的に勘案し、適正な立地を図った。</p> <p>これにより、持続的発展が可能な暮らしやすいまちづくりを推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模集客施設等立地計画の提出 1件
③ 「買援隊」の支援 【商業振興金融課】	商工振興費 (6,000) 101	<p>日常生活の買い物に不便を感じている人々の買い物環境の改善を図るため、地域の特性や住民のニーズ等に応じ、市町村が中心となって、地域の商店や商店街、商工会等が協力して行う「買援隊」の取り組みに対して支援した。</p> <p>これにより、県内の買い物環境の向上が図られ、買い物弱者の解消に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「買援隊」活動促進事業費補助金による支援 1市町村 ・買い物弱者対策情報交換会の開催 平成30年2月

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
④ 中心市街地活性化事業への支援 【商業振興金融課】	———	<p>中心市街地活性化を促進するため、甲府市が策定した「中心市街地活性化基本計画」において県が実施主体となっている事業を円滑に実施するとともに、市や商店街等が実施する空き店舗対策や誘客のためのイベント開催の事業などに対し支援した。</p> <p>これにより、甲府市中心市街地に新たなにぎわいを創造した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街活性化イベント開催等の支援 2件 ・空き店舗への出店促進のための創業の支援 8件 ・街路灯のLED化等による施設整備の支援 5件
⑤ 甲府駅南口周辺地域の再整備の推進 【都市計画課】	街路事業費 (663,501) 348,546 [314,955] 都市計画総務費 (10,000) 9,500	<p>甲府駅南口駅前広場と平和通りを、県都の玄関口にふさわしい景観にするため、「甲府駅南口周辺地域修景計画」に基づく再整備を進めるとともに、甲府市と共同で甲府城周辺地域の整備計画の策定を進めた。</p> <p>これにより、甲府駅南口周辺地域の魅力ある市街地づくりに寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・甲府駅南口駅前広場及び平和通りの整備 甲府駅南口駅前広場の全面供用 平成29年8月 県庁前交差点から防災新館前交差点まで(東側) 供用開始 平成30年3月 ・甲府城周辺地域の整備計画の策定 甲府城周辺地域活性化実施計画の策定 平成29年12月 地元関係者、商工団体との意見交換会の開催 5回
⑥ 甲府城跡の整備に向けた取り組みの推進 【学術文化財課】	文化財保護費 (1,080) 990	<p>県指定の「史跡甲府城跡」内における天守閣等の復元整備に関わる歴史的な根拠を探るため、総合調査を実施し、絵図52点と古文書14点を発見・検証した。</p> <p>これにより、城内の利用形態等の変遷が詳細に判明し、歴史的建造物の復元根拠の充実を図ることに繋がる成果を得た。今後も更なる整備にあたっての日常的な調査・研究を継続していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・甲府城跡総合調査検討委員会報告書の作成